

ながおか男女共同参画基本計画 成果指標について

資料 No.3

第2次基本計画 (H24～R3)

第3次基本計画 (R4～R13) (案)

No.	指標	計画策定時の値 平成23年度	現状値 平成28年度	目標値 令和3年度	速報値 令和3年度
1	「社会全体の男女が平等であると思う人」の割合を高める	26.1% 総合計画まちづくりアンケート	15.5% 市民意識調査	30%	12.5% 市民意識調査
2	「政策方針決定への女性の参画」の割合を高める	27.2% 男女平等推進センター調査	29.7% 男女共同参画推進室調査	33%	35.4% 人権・男女共同参画課調査(確定値)
3	「固定的な性別役割分担意識に否定的な人」の割合を高める	67.6% 市民意識調査	74.9% 市民意識調査	80%	82.2% 市民意識調査
4	「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を実現している人」の割合を高める	9.8% 市民意識調査	7.5% 市民意識調査	15%	7.7% 市民意識調査
5	「DV相談窓口を知らない人」の割合を減らす	14.7% 市民意識調査	11.7% 市民意識調査	8%	14.8% 市民意識調査

No.	指標	速報値 令和3年度	目標値 令和13年度
1	「社会全体の男女が平等であると思う人」の割合を高める	12.5% 市民意識調査	30%
2	「政策方針決定への女性の参画」の割合を高める	35.4% 人権・男女共同参画課調査(確定値)	40%～60%
3	女性のリーダーを増やす時の障害として、「女性自身がリーダーになることを希望しない」と答える人の割合を減らす	(女性) 28.5% (男性) 35.6% (全体) 31.4% 市民意識調査	それぞれ5%以上減らす
4	「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を実現している人」の割合を高める	7.7% 市民意識調査	15%
5	DV相談窓口としてウィルながおかを知っている人の割合を高める	15.2% 市民意識調査	30%

※No.3は、性別で役割を固定的にとらえる意識により、男女の生き方を制約する恐れがあるため、固定的な意識に否定的な人を増やすことを指標としました。

※No.5は、DV被害者とその子どもの安全を守るためには、DV相談窓口を知ることが最も重要であるため、窓口を知らない人を減らすことを指標としました。